

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

局所進行直腸癌に対する術前化学放射線療法 of 検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2001年4月から2016年10月までに局所進行直腸癌に対して術前化学放射線療法を施行後に手術を受けた方

2. 研究目的・方法

局所進行直腸癌に対する標準的治療は日本と欧米で異なっている。日本は、側方リンパ節郭を伴う Total Mesorectal Excision (TME) であるが、欧米は、術前化学放射線療法 (CRT) 後に TME の手術を施行している。近年、日本においても術前 CRT を施行する施設が増加してきている。当院も 2001 年から症例を選択して術前 CRT を施行しており、その効果および再発、予後を検討し局所進行直腸癌における術前 CRT の妥当性を検証する。

研究期間

2016年12月1日～2018年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（年齢、性別、既往歴、現病歴）血液データ、放射線治療のデータ、術前術後画像（CT, MRI, 大腸内視鏡、3DCT など）、手術所見、術中ビデオ、標本写真、病理結果、術後経過観察中の化学療法データのデータ、再発時の画像（CT, MRI, PET/CT, 大腸内視鏡など）、予後調査の結果に関する情報

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 消化器センター

研究責任者：日高英二

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号：045-949-7000